

福德岡ノ場 平成 17 年（2005 年）年報

○ 平成 17 年の概況

7 月 2～3 日に小規模な海底噴火が発生したほか、火山活動によると考えられる変色水がたびたび観測されるなど、やや活発な状態が続きました。

○ 火山情報の発表状況

表 1 福德岡ノ場 火山情報の発表状況（平成 17 年）

火 山 情 報 名	発表日時	概 要
火山観測情報第 1 号	7 月 3 日 19:30	小規模な海底噴火の発生を確認

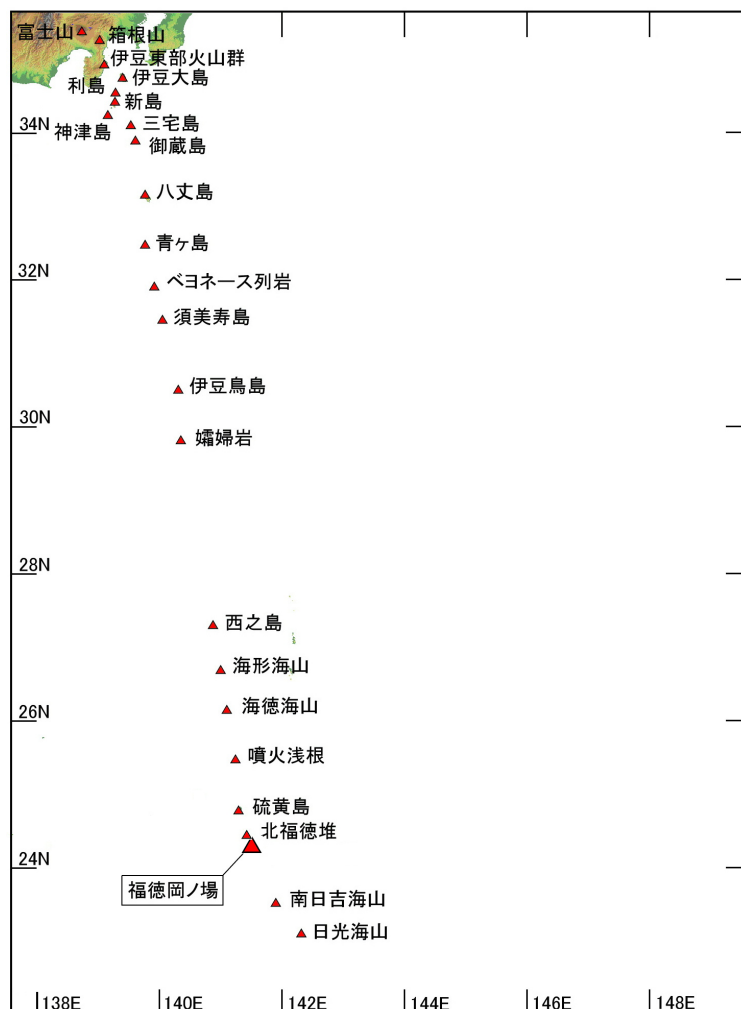


図 1 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と福德岡ノ場

※この資料は気象庁のほか、海上保安庁及び海上自衛隊のデータ等も利用して作成しています。

福德岡ノ場

○ 7 月の噴火の状況

- ・ 海上自衛隊によると、7 月 2 日 17 時 45 分頃から福德岡ノ場で白色噴煙が目撃され、同日 19 時過ぎに行った調査で、海面から高さ約 1,000m に達する白色噴煙と、海面上の幅 100m、長さ 300m 程度の範囲に噴火によると思われる浮遊物が確認されました。
- ・ 7 月 3 日に海上自衛隊及び海上保安庁が上空から行った調査では、白色噴煙の高さが低くなるなど噴火活動は次第に低下しました。
- ・ 7 月 4 日及び 5 日の上空からの調査（4 日は海上保安庁と東京工業大学、5 日は海上保安庁と気象庁が共同で実施）では噴煙は見られず、3 日までの噴火の浮遊物と変色水が確認される程度に収まっていました。
- ・ その後、7 月 15 日に海上自衛隊、17、20、21 日に海上保安庁が上空から行った観測では、変色水は観測されましたが、浮遊物等は認められませんでした。
- ・ 7 月 20～22 日に海上保安庁が無人測量船「マンボウⅡ」で海底地形調査を行った結果、今回の噴火で生じたと思われる 2 つの火口と、これらの火口のすぐ南側に新たな地形の高まりが発見されました（詳細は海上保安庁海洋情報部のホームページ(<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>) を参照)。



(a) 7 月 2 日 福德岡ノ場から噴煙が上がる
（北約 50km の硫黄島から撮影）



(b) 7 月 3 日 矢印地点から浮遊物・変色水が
延びる（北東側上空から撮影）



(c) 7 月 4 日 変色水を確認
（上空から撮影）



(d) 7 月 5 日 変色水を確認
（上空から撮影）



(e) 7 月 21 日 変色水を確認
（上空から撮影）

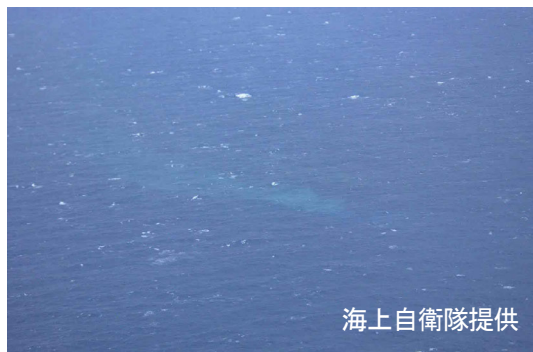
図 2 福德岡ノ場 7 月の噴火および変色水の状況（後方の島は南硫黄島）

○ 変色水の状況（その他の期間）

福德岡ノ場付近では、噴火が発生した 7 月以外にも変色水が年間を通して観測されました（表 2）。

表 2 福德岡ノ場 観測された変色水等（平成 17 年）（上空からの観測による）

日付	観測機関	観測された現象	日付	観測機関	観測された現象
1 月 21 日	海上自衛隊	変色水	7 月 15 日	海上自衛隊	変色水
2 月 1 日	海上保安庁	変色水	7 月 17 日	海上保安庁	変色水
3 月 9 日	海上保安庁	変色水	7 月 20 日	海上保安庁	変色水
5 月 18 日	海上自衛隊	変色水	7 月 21 日	海上保安庁	変色水
7 月 2 日	海上自衛隊	白色噴煙、浮遊物	9 月 11 日	海上保安庁	変色水
7 月 3 日	海上自衛隊 海上保安庁	白色噴煙、浮遊物、変色水	9 月 15 日	海上自衛隊	変色水
7 月 4 日	海上保安庁・東京工業大学（共同）	浮遊物、変色水	10 月 3 日	海上保安庁	変色水
7 月 5 日	海上保安庁・気象庁（共同）	浮遊物、変色水	11 月 28 日	海上保安庁	変色水
			12 月 12 日	海上保安庁	変色水
			12 月 22 日	海上保安庁	変色水



海上自衛隊提供

1 月 21 日に確認された変色水
・南東に長さ約 1,000m、幅約 50m、薄い青色



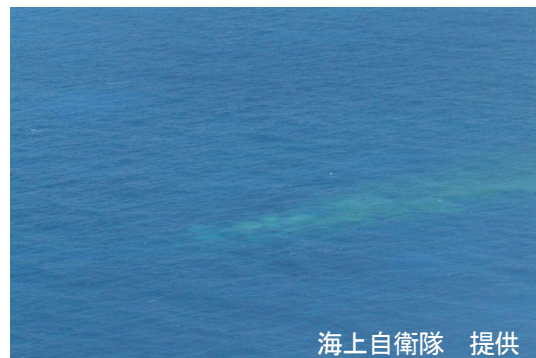
海上保安庁 提供

2 月 1 日に確認された変色水
・南東に長さ約 500m、幅約 150m、黄褐色



海上保安庁 提供

3 月 9 日に確認された変色水
・南に長さ約 1,500m、幅約 300m、黄緑色
・東西に長さ約 1,000m、幅約 150m、薄い緑色
（上記変色水の南側約 500m 付近）



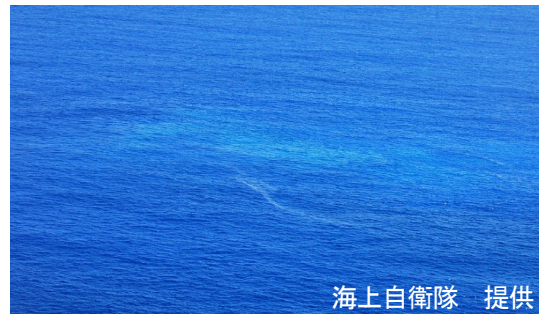
海上自衛隊 提供

5 月 18 日に確認された変色水
・北方に長さ約 9 km、幅約 700m の帯状、薄い緑色

図 3 福德岡ノ場 観測された変色水（1～5 月）



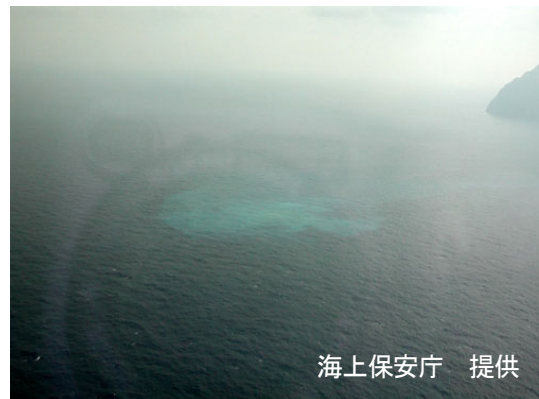
- 9 月 11 日に確認された変色水
- ・西方向に長さ約 4.6 km、最大幅約 500m の帯状、淡い緑色



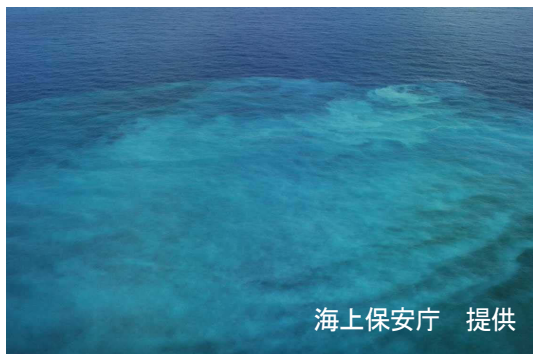
- 9 月 15 日に確認された変色水
- ・南西方向に長さ約 300m、幅約 50m、淡い緑色



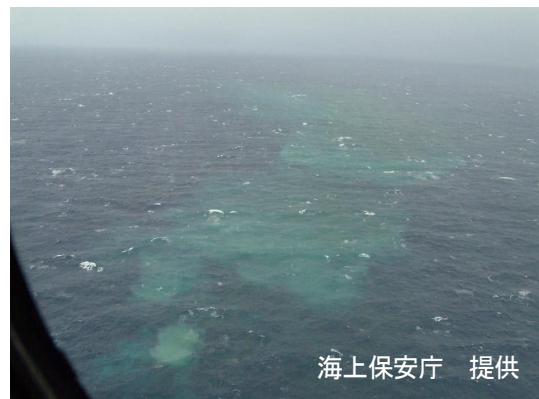
- 10 月 3 日に確認された変色水（右後方は南硫黄島）
- ・東方向に長さ約 300m、最大幅約 50m の帯状、淡い青白色



- 11 月 28 日に確認された変色水
- ・南方へ長さ約 3,000m、幅約 1,000m、湧出点付近が青緑色、周囲が青白色
 - ・南方に長さ約 1,000m、幅約 300m、黄緑色（上記変色水の西側）



- 12 月 12 日に確認された変色水
- ・西南西に長さ約 3500m、幅約 100m、淡い水色



- 12 月 22 日に確認された変色水
- ・東南東に幅約 100m、長さ約 5,000m、青緑色

図 4 福徳岡ノ場 観測された変色水（9～12 月）

○参考

表 3 過去の主な火山活動（日本活火山総覧第 3 版による）

年月日	現象	概要
1904～1905(明治 37～38) 年	海底噴火	11 月 14 日に爆発音、28 日に噴煙と水蒸気、12 月 5 日に新島生成を発見。その後の測量で新島は高さ 145m、周囲約 4.5km、ほぼ円形。1905 年 6 月 15 日には新島は高さ 2.5～3m に減少、やがて礁岩に変化。
1914(大正 3) 年 1 月	海底噴火	1 月 23 日に大噴煙、溶岩流出。1 月 25 日に新島出現(高さ 300m、周囲 11.8km)。新島は 12 月には各所で決壊、翌々年には消滅していた。
1973(昭和 48) 年 12 月 18～19 日	海底噴火	硫黄状のもの流出。
1974(昭和 49) 年 2 月 16 日	海底噴火	海水変色。
1986(昭和 61) 年 1 月 18 日	海底噴火	噴石丘出現。3 月 26 日に海面下消滅。
1992(平成 4) 年 11 月 10 日	海底噴火	軽石浮遊、変色水。11、12 月に変色水を認めた。